

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 137251

車両情報	ホンダ フリード ハイブリッド	平成23年10月~28年9月	GP3系	1/2ページ	ES-89 Light	Type	N.L.
	フリースパイク ハイブリッド	平成23年10月~28年9月	GP3系			Opt.	ドアロックリレーN.LⅢ(E P 070)

① イモビライザー無し・セキュリティアラーム無し車

① 運転席側カバー類の外し方

- ① 右側のロアカバー（ヒューズBOXのサービス用カバー）を外す…手前に引っ張る。
- ② コラムカバーを外す…以下の手順で外す。
 - 下側コラムカバーの右正面を押して、カバー右側のツメを外して浮かせる。
 - カバーが浮いたところで、全体のツメを外しながら、上側コラムカバーを先に外す。
 - 下側からのネジ（3本）を外してから、下側コラムカバーを外す。

- ① ドアロック/アンロックの取り付け、及び全てのドアの開閉検出を行う場合のドア検出接続方法については、2/2ページを参照してください。

- ① CN2のL端子（茶）は、室内に接続場所が無いため配線はせずに、オート検出にて使用してください。

- ① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

オートマチック車認識設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

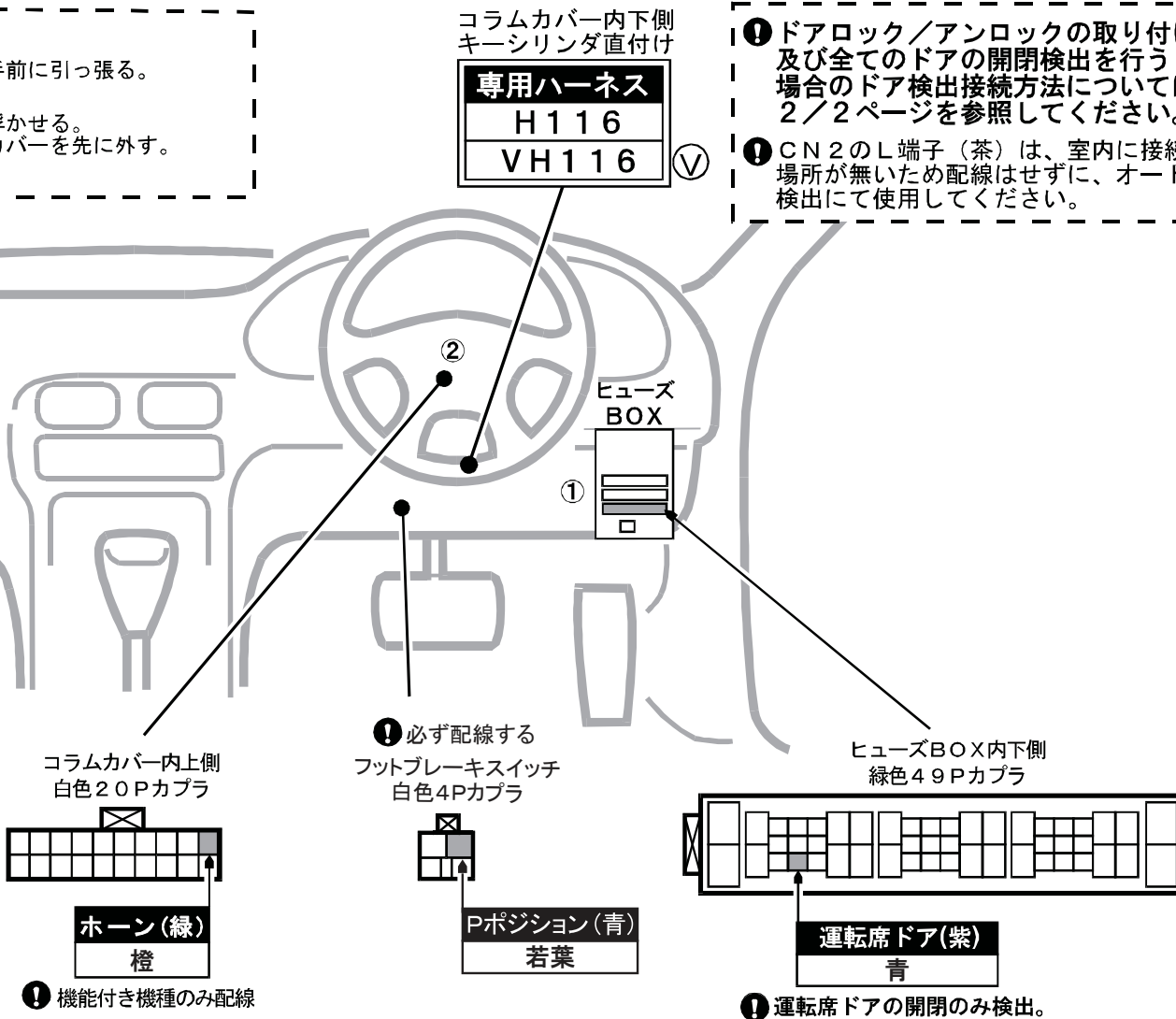
- ① 車両のイグニッションをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後（約3秒後）ブレーキを放す。
- ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤ 設定完了

※設定作業をしないとエンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色

止めネジ等



車種別取付資料

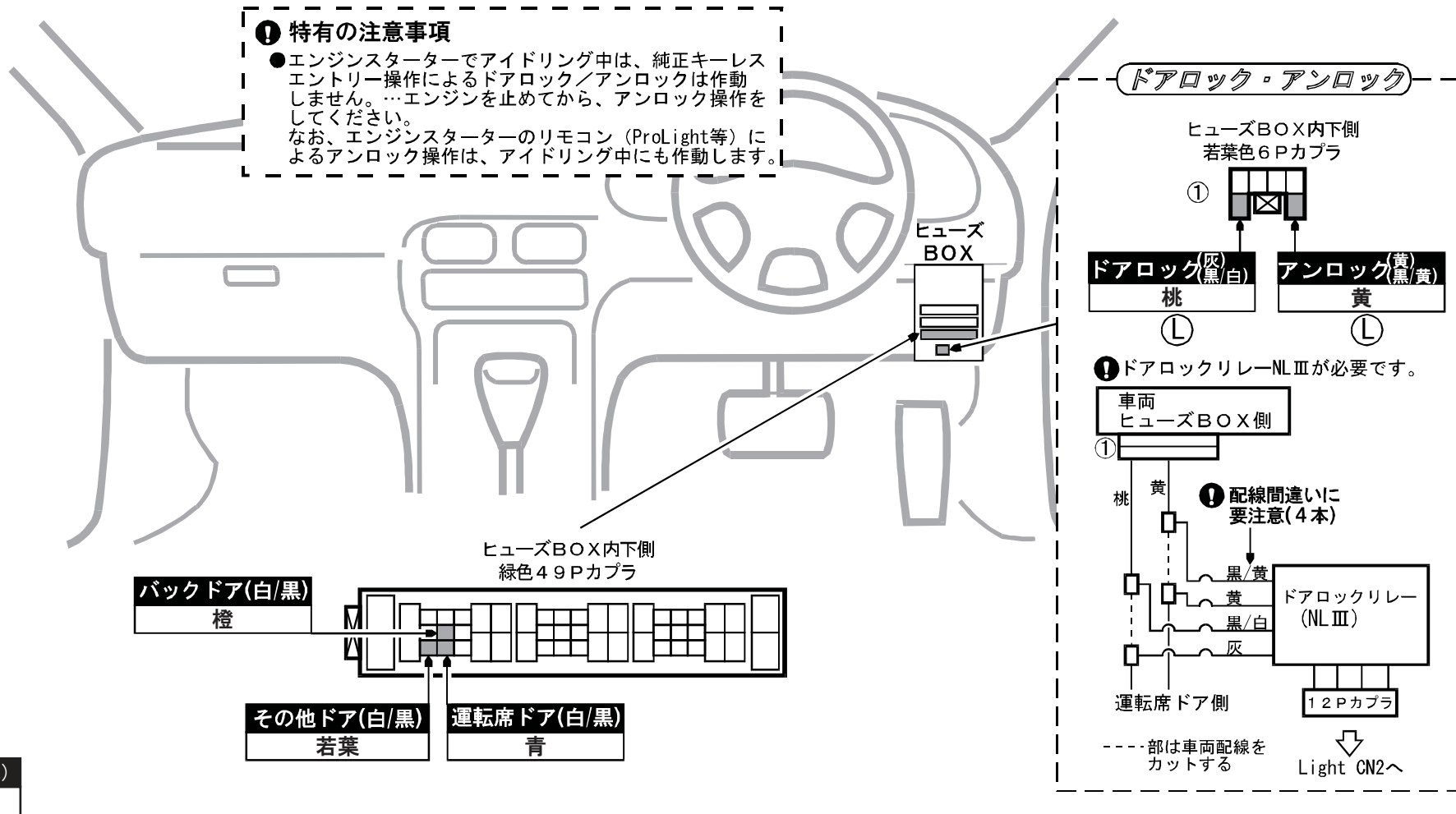
ES-89Light — 配線する信号は(L)表示です。

BOX No. 137251

車両情報	ホンダ	フリード ハイブリッド	平成23年10月~28年9月	GP3系	2/2ページ	ES-89 Light	Type	N.L.
		フリードスパイク ハイブリッド	平成23年10月~28年9月	GP3系			Opt.	ドアロックリレーNLⅢ(E P 070)

① イモビライザー無し・セキュリティアラーム無し車

① セキュリティ機能を使用する場合等に、全てのドアの開閉検出を行う場合は、別売のドア信号検出ユニットⅡ（商品コード：EP131）を使用して、CN2のドア検出配線（紫）は、必ず下記の3箇所に分岐接続してください。



車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、必ずヒューズ（25A）付きの専用ハーネス（VAS対応品）で取り付けをしてください。



❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VH116がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年（平成18年）6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル（オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル）については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準（新保安基準）に適合しており、全国自動車用品工業会（JAMA）の盗難発生警報装置自主基準（VAS）を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。（以下を確認してください）

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置（機能）を使用する場合、全てのドア（バックドア等も含む）開検知が必要です。

❗ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット（別売）が必要になります。

③登録証（全国自動車用品工業会自主基準登録証）は、必ずお客様にお渡しく下さい。

❗ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しく下さい。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。